

ペリオテスト M

PERIOTEST M

動的歯周組織診査・診断装置

Medizintechnik Gulden
Manufacturer of the Periotest

数値ほど、
明確な判断基準はありません。



特定保守管理医療機器

製品名：ペリオテスト M

分類：管理医療機器

医療機器認証番号：223AGBZX00203000

一般の名称：歯牙動揺測定器



東京歯科産業株式会社

本体とハンドピースがコンパクトに一体化しました。 ボタン操作一つで歯の動揺度を測定、 「ペリオテスト値 (PT値)」として数値化します。



「ペリオテスト値 (PT値)」について

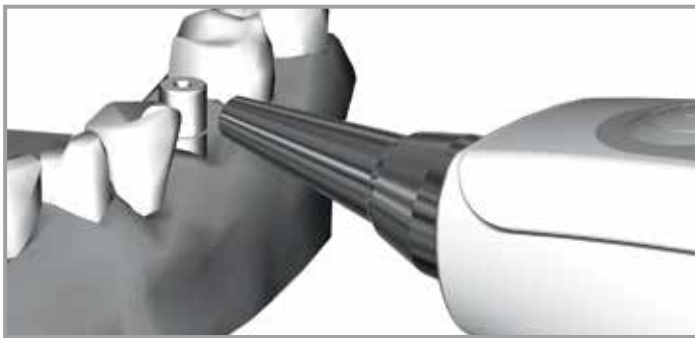
1歯について16回打診を繰り返し(約4秒間)、接触時間の差異をマイクロコンピュータが算出、平均値をペリオテスト値 (PT値) として-8から+50の数値で表示します。

臨床動揺度 (Miller指数) が0の場合も-8から+9まで18段階に判別するため、歯周組織の進行性徴候はもちろん、初期病変も見逃しません。

インプラント治療への臨床応用例

インプラント治療ではアバットメントにおいて測定します。2~3%の微妙なインプラントの固着の変化を測定値から判断できるため、早期に診療結果を予見することができます。

臨床的に動揺が認められない症例も、ペリオテスト値 (PT値) が-8から+9を超えた場合は、急激な負荷がかかったときに失敗につながる高い危険性があります。



さらに使いやすく進化しました。

- 本体は軽量でコンパクトなハンドピース型です。
- 測定状況を電子音で分かりやすくお知らせします。また、測定値は小数点以下一桁までデジタル表示されます。



- タッピングヘッド部は取り外して減菌が可能です。
- 常に正しい測定値を得ることが可能です。不適当な測定はデジタル表示され、電子音でお知らせします。

広い範囲の症例に応用できます。

- 歯周組織の初期、および現症の構造的変化の診査
- 歯周疾患治療後の定期的診査
- 不正咬合の歯周組織への影響や咬合調整後のモニタリング
- 支台歯としての有効性の確認や補綴物の選択の判断

ペリオテスト値 分析法

臨床的動揺度	臨床的性状	ペリオテスト値 (PT値)	インプラント治療への臨床応用例
0	動揺が認められない	PT -8~0	インプラントの経過良好で、インプラントは安定している。
		PT 0~+9	口腔内所見、X線所見と合わせて慎重に診断する必要があります。ペリオテスト値は上顎臼歯と比較すると通常、下顎臼歯のほうがより低い数値を示します。
I	触診で動揺が感じられる	PT +10~+19	ペリオテスト値が+10以上の場合、明らかに問題が生じています。十分なオッセオインテグレーションが獲得されていません。
II	視覚的に動揺が認められる	PT +20~+29	
III	舌や口唇で歯が動揺する	PT +30~+50	

- 寸法及び重量 【本 体】●寸法:W31×D40×H178(mm) ●重量:150g 【充電スタンド】●寸法:W65×D96×H65(mm) ●重量:80g
- 電氣的定格
- 【本 体】●定格電圧:DC7.4V(リチウムポリマー交換可能バッテリー 240mAh) ●定格電流:50mA ●電撃に対する保護の形式:内部電源機器 ●電撃に対する保護の程度:B形装着部
- 【充電スタンド】●定格電圧:入力12VDC 出力8.4VDC ●定格電流:最大800mA ●電撃に対する保護の形式:クラスII機器
- 【ACアダプター】●定格電圧:入力100-240V AC50-60Hz 出力12VDC ●定格電流:最大800mA ●電撃に対する保護の形式:クラスII機器

標準価格 **330,000円 (税別)**

※技術的改良のため予告なしに変更することがありますのでご了承ください。